



# 地域おこし協力隊導入のための心得

～地域おこし協力隊を活用して地域がさらに元気になるために～

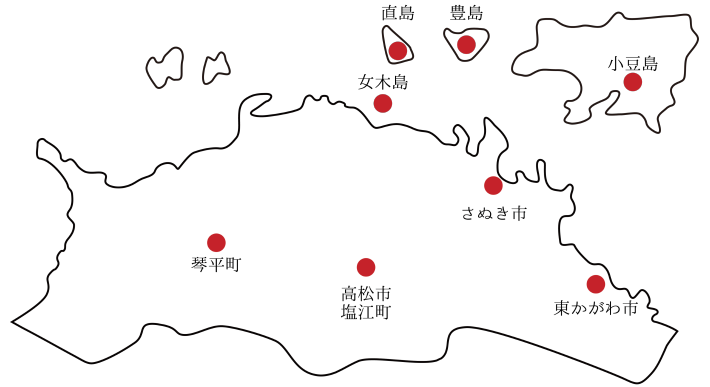
## その①制度を知る

概要（出典：地域おこし協力隊HP: <http://www.iju-join.jp/chikiokoshi>）

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図る事で、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていく事を目的とした制度

全国の地域おこし協力隊：約2,600名  
（平成27年度現在）

香川県の地域おこし協力隊：県3市4町18名  
（平成28年4月1日現在）



## その②課題を知る

（香川県内の地域おこし協力隊向けアンケート結果より）

### i 「誰に相談したらいいの？」（相談役の不在）

相談する相手がおらず、隊員が孤立と不安を感じながら活動するケース▶**メンター（相談役）**の設置

### ii 「コミュニケーションが上手く取れない」（意思疎通の壁）

職員・住民とのコミュニケーションで悩むケース▶**綿密なコミュニケーションの仕組み**が必要

### iii 「任期後が不安」（将来に対する不安）

「楽しい」だけではいつまでも続かないケース▶3年間雇う**責任**と将来を一緒に考える**協力体制**が必要

## その③本質を知る

地域おこし協力隊は、地域課題解決するための**ツール**（手段）です。  
つまり、導入するのが目的ではなく、**地域課題の解決**が目的です！

### 「何のために、何をしてもらうのか？」

地域・行政・隊員、**全員**が共有する必要があります！

（例）

課題	ツール（手段）
税収の減少	ふるさと納税
人口減少	移住コンシェルジュ
買い物難民	移動販売
???	地域おこし協力隊

ココを事前に決めることが必須！

## その④協力隊が得意なことを知る

### 若者目線

柔軟な発想、ITの活用など

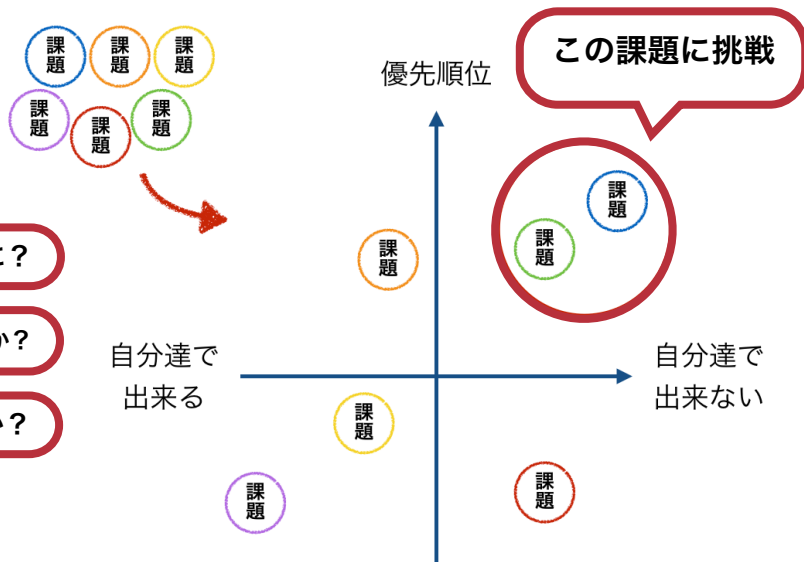
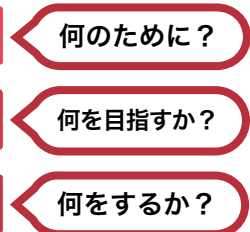
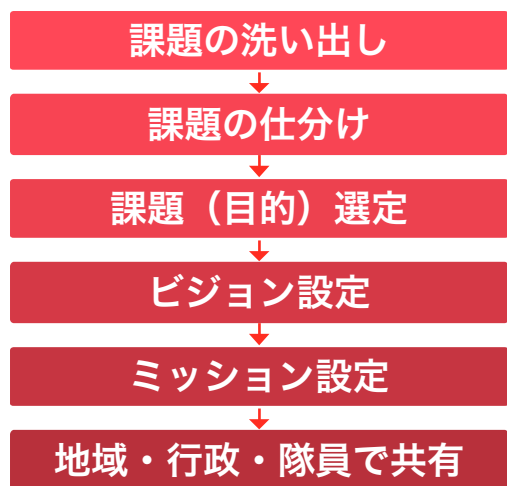
### よそ者目線

前例にとらわれず、新鮮な目線で地域を捉える

### 鳥の目線

協力隊ネットワークを活かして広い視野で地域を捉える

## その⑤目的を明確化し、共有する



## その⑥受入態勢を整える

### くらし編

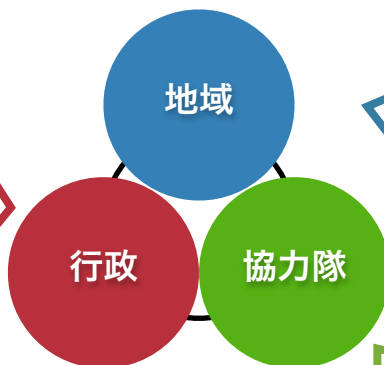
- 住居 生活環境 通勤環境 住民の受入態勢 住民との交流の機会

### しごと編

- 雇用形態 勤務場所 副業 給与 備品(PC、公用車等) 活動範囲 職員理解
- ほうれんそう(報告・連絡・相談)体制 意思決定体制 任期後イメージ 定住サポート
- 研修・スキルアップの機会

## その⑦心構え

- ・ 3者の想いを1つにする  
協力隊と地域の“調整役”
- ・ 課題解決に向けた  
“きめ細かいサポート”



- ・ 協力隊に“やってもらう”のではなく、“一緒にやる”
- ・ 協力隊は便利屋、スーパーマンではない。“地域の仲間”

- ・ 独りよがり、自己満足では地域は起こせない
- ・ 地域の意思を尊重する
- ・ 「やりたい事」と「地域の想い」の融合をカタチに

## さぬきの輪的 地域おこし協力隊導入のための心得

平成28年6月 第1版 製作

香川県政策部地域活力推進課

〒760-8570 香川県高松市番町4丁目1番10号

TEL:087-832-3105 FAX:087-831-1165

MAIL:chiiki@pref.kagawa.lg.jp

協力隊情報  
さぬきの輪WEB

